

令和5年度 入学式式辞

新緑が輝きを増し、すがすがしい春の風が吹き抜けていく今日のよき日に、ご来賓の佐伯謙作播磨町長様、碇野純子 PTA 会長様、並びに保護者の皆様ご臨席のもと、兵庫県立播磨南高等学校 第四十回入学式を挙行できますことは、私たち教職員にとりまして、この上ない喜びでございます。高いところからではございますが、ご臨席賜りました皆様方に厚くお礼申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました 160 名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。播磨南高校に入学してくれてありがとう。我々教職員一同は、皆さんのご入学を心より嬉しく思っています。

そして、保護者の皆様におかれましては、立派に高校生となられたお子様の晴れやかな姿を目の当たりにされ、そのお喜びはいかばかりかと拝察しますとともに、高校入学までの道のりは決して簡単ではなかったと存じます。ここまで新入生諸君を支えてこられました保護者の皆さまに心よりお祝い申し上げます。

さて、新入生の皆さん、今から質問をしますので自分の答えを考えてみてください。「君たちが播磨南高校に入学した目的は何ですか?」、もし高校に入ることが目的であれば、今この時に目的が達成されたことになりましたがどうでしょうか。

これから大切な高校生活をスタートする皆さんに覚えておいて欲しい言葉があります。「目的と手段」という言葉です。

目的を達成するために手段があります。野球の WBC で侍ジャパンの日本チームが優勝して、とても盛り上がりました。特に大谷翔平選手の活躍は記憶に新しいところです。大谷選手は日本チームが優勝することを目的としていました。優勝するために、バッターとしてホームランやヒットを打ち、ピッチャーとして良い球を投げてチームに貢献することが目的を達成するための手段でした。もし大谷選手が、自分がホームランを打つことだけを目的としていたらどうでしょうか。ホームランを打てたら目的

達成となりますが、試合の勝ち負けやチームメイトの存在はなくなってしまいます。これでは何のためにホームランを打つのか、意味がなくなってしまいます。これは手段が目的になってしまっている現象です。

これからの皆さんの高校生活も同じです。自分の目的、目標と言っても良いでしょう。その目的を達成するために手段として何をしていくのか、そこを良く考えて行動して行ってください。高校生活の中で、迷う事、悩む時が必ず来ます。そんな時に、自分が目指す目的は何か、その目的を達成するための手段は何かを考えて欲しいのです。

皆さんが中学校の時の勉強や部活がどうだったかは関係ありません。今この瞬間からスタートです。

長い目で見れば、私たちには自分の人生を有意義なものにするという目的があります。人生を有意義にするための手段として高校生活があるのです。長い人生の中で高校三年間は短いですが、この三年間がその後の人生に大きく影響します。皆さんが新しいことにチャレンジしていく勇気と諦めない粘り強さを持って、自分の目的に向けて進んで行ってくれることを心より期待しています。

その皆さんを私たち教職員は全力でサポートして行きますので、一緒に元気に前向きに高校生活を意義あるものにして行きましょう。

保護者の皆さま、これからの高校生活も山あり谷ありになろうかと思います。子ども達が立派な大人として本校を卒業してくれることを、我々共通の目的として、一緒に悩み、考え、相談しながらやっていきたいと存じます。

これからの時代を担っていく新入生の皆さんが、今の気持ちを胸に刻み、心身ともに健康で明るく、目的に向かって学校生活を送れますようお祈りしまして、式辞といたします。